

野生鳥獣による農作物被害の発生状況について

- 令和6年度の野生鳥獣による農作物被害額は、19,483千円となりました。
- 令和6年度は、ブナの実など山の堅果類が豊作であったことなどからツキノワグマの出没が減少し、被害額は大幅に減少しました。一方、イノシシの被害額は年々増加傾向にあります。
- 作目別では、水稻の被害が全体の約5割を占め、次いで野菜、果樹と続いています。
- 近年、イノシシやニホンジカの見撃情報が増加しています。県としては、鳥獣被害防止対策研修会を開催する他、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し各市町村の鳥獣害対策を支援します。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ツキノワグマ	10,985	11,588	11,348	3,566	128,023	3,702
サル	5,179	2,854	4,609	2,151	2,589	1,669
カラス	6,725	6,423	6,811	7,032	12,379	6,020
イノシシ	1,175	2,719	4,106	3,506	9,513	6,108
ニホンジカ	125	494	394	853	211	13
その他	5,429	5,978	6,875	6,026	13,936	1,971
合計	29,618	30,056	34,143	23,134	166,651	19,483

